

大家高兴点儿吧！

知らない世界に飛び込んでみよう！

人文学部人文コミュニケーション学科3年 木村優希

你好！皆さんは中国という単語を聞いて何を想像しますか？これから紹介する私の留学体験記が皆さんの中国に対する印象を少しでも変えられたなら幸いです。

留学した浙江大学のある中国・杭州市は上海の南西約200^{km}に位置しており、気温は水戸とあまり変わりません。

中国は、大気汚染がいろいろ言われておりますが、綺麗な時があればそうでない時もありました。商業都市でありながら自然が多く、朝から晩まで活気で溢れていました。



(↑国際教育学院：留学生寮や食堂が併設されており、授業もここで行われます)

浙江大の漢語進修生として5か月留学しました。中国語は、留学前に未修外国語として授業を受けていた程度で、直後は発音で苦しみました。伝わらなかったり、やっと意味をわかってもらえても返事が聞き取れなかったり、散々でした。結局、筆談になることもありました。

◇中国語と英語で頭が混乱

授業は中国語と英語で、1コマ90分。平日2コマずつ、レベルで内容が異なります。所属した初級クラスは文法・スピーキング・リスニングの3つありました。授業開始は、朝8時、健康に良いとわかっていながらもきつかったです。

午後の選択科目は、中国経済と書道を受講しました。中国経済は英語、書道は中国語で、言葉自体はわからないこともありましたが、スライドを使って、先生が手本を示したりしてくれたので理解できました。

中国語と英語の生活は、頭が時折、混乱しましたが、日本にいる時よりはるかに進歩が速いと思いました。学習した構文をその日の生活でそのまま実践できる環境に身を置くことに意味があるのだと痛感しました。

中国語は一か月程でやっと耳が慣れてきたという実感があり、現地の人たちと日常

会話ができるようになりました。

授業の終了後のクラスメートとの会話は中国語ではなく、英語でした。出身国によって発音が少し違うことに面白さを感じました。その一方で、喋る言葉のスピードが早すぎ、なまりが強くて聞き取ることが難しかった時もありました。

◇杞憂だった反日感情

留学前に一番気になっていたのは、反日感情でした。日本人とわかったらどんな扱いを受けるのかと心配でした。行ってみたらそれは杞憂でした。

バスの中で友達と会話している最中に、突然「あなたどこの国の人？」と別の人から声を掛けられ、そこから会話が弾むこともありました。

人によっては日中の政治や領土について意見を求めてくる人もいました。日本語を学ぶ多くの中国人にも出会い、マンツーマンで勉強しあうこともありました。

茨大との違いは、何と言っても規模でしょう。キャンパスの大きさ、学生数、交通量...様々な点で感じました。学生の勉強量も浙江大学の方が多いです。いつも勉強、休みも勉強、ガリ勉で真面目、そんな印象が私の中で強く残りました。ただ、ファッションだと、人によるとは思いますが、茨大生の方がおしゃれです。

◇食生活の違いに驚く

生活習慣で一番大きかった違いは食です。現地の人食べ方はあまり真似したくなかったです。左手を使わないのはもちろんですが、魚や肉を食べる時、骨ごと食べて、

残りの骨だけをテーブルや皿の上に直接、吐き出すのには閉口しました。

現地では、午後17時から18時の間に夕食をするのが一般的で、午後19時から20時に済ます私にとってはかなりきつかったです。食堂

も同18時過ぎには、ほぼ品薄になるか閉店してしまいます。

留学中、上海、北京、温州へ旅行しました。上海では、友達との観光後、フィギュ



中国・浙江大学留学記

2015年2月18日

アスケートの観戦に行き、そこで、各国の選手の演技はもちろん、生で羽生結弦選手を見ることができて感動しました。

北京では世界遺産を見学しました。万里の長城はやはり、圧巻で、息をのむほど素晴らしかったです。感動したのは、空気がとても澄み渡っていたことでした。北京は大気汚染がかなり深刻との印象を持っていた私にとって、これは驚きでした。

中国人でさえ聞き取るのが難しい中国語が使われる温州にも行きました。高層ビルと車が多かった印象があります。味付けが杭州と少し違うように感じました。

◇知識の不十分さを痛感

今回の留学で困ったことは、自分の知識が不十分だったことです。質問されても「知らない」では会話が成立しませんし、間違ったことを教えるわけにもいきません。その内容を伝えるだけの語彙力も必要になります。



日本のことはもちろんですが、相手の国のことも知ることでやっと同じ立場になります。たとえ知識がないとしても、わかろうとする意志や行動が何より大事であると痛感しました。

この留学の最大の魅力は中国人だけでなく、世界各国の人たちと知り合いになり、多くの異文化に触れることができるという点です。私のクラスだけでも18ヵ国からの留学生がいました。他のクラスも合わせるとさらに広がります。

日本からの留学生も何人かおり、学生だけでなく社会人の方もいました。みんな様々な環境で色々な経験をしてきた面白い人たちばかりで話していて楽しかったです。



さて、中国のイメージは変わりましたか？

百聞は一見に如かず。自分のその足で行き、その目で確かめてみてください！

